

しばふ はすずしいのか？

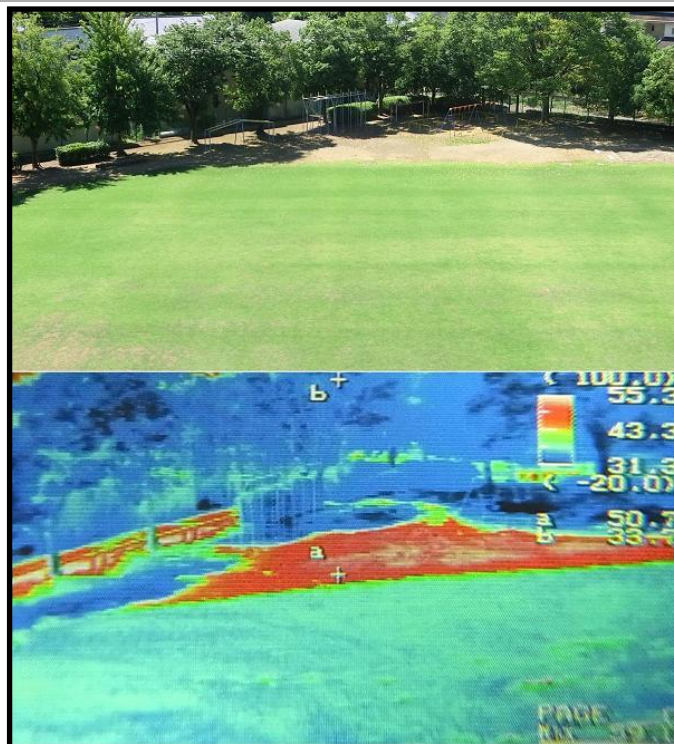
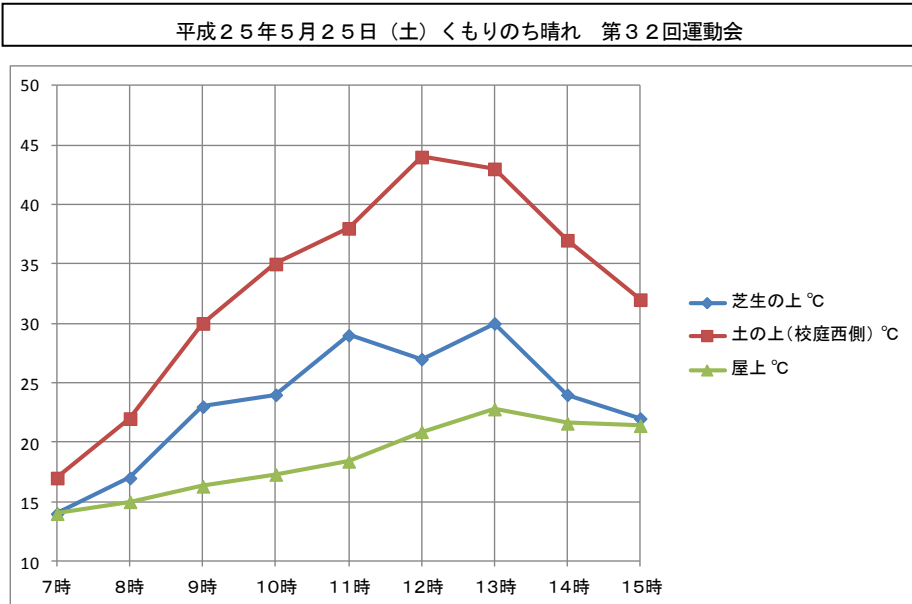
「しばふの上はすずしいね！」とか、「しばふの上を渡(わた)る風はすずしいね。」などによくいわれます。みなさんはどう思いますか？本当にしばふの上はすずしいのでしょうか。

右は平成25年の運動会の日の上屋上の気温(一番下)としばふの表面の温度(真ん中)、学童前の土の校庭の表面の温度(一番上)の温度変化です。気温が上がるにしたがって、土の校庭もしばふの校庭も温度が上がり、気温が下がってくると校庭の温度も下がっています。しかし、土の校庭としばふの校庭での変化の大きさは同じでしょうか。しばふの校庭より土の校庭の方が変化が大きくなっていますね。・・・ということは、土の上よりしばふの上の方が、

〇〇〇〇。」

職員室の前にかけてある特殊なカメラ(サーモカメラ)でとった校庭の写真を見せてもらいましょう。サーモカメラは温度の違いを色で表します。下の写真の真ん中あたりの三角形の赤い部分は、上の写真を見ると土の部分であることが分かります。赤の温度は50℃ぐらいです。その下の緑の部分はしばふ校庭の部分です。緑の温度は37℃ぐらいです。これを見ても、しばふの上の方が土の上よりも〇〇〇〇であることが分かります。これは、しばふだけの効果(こうか)ではありません。下の写真の上の青い部分は、上の写真で見ると木の部分ですね。青の部分の温度は33℃です。しばふよりも低くなっています。植物があると、植物がない場所より温度が低くなるのです。気温も下がります。つまり、すずしくなるのです。そうです。ゴーヤカーテンと同じ効果なのです。

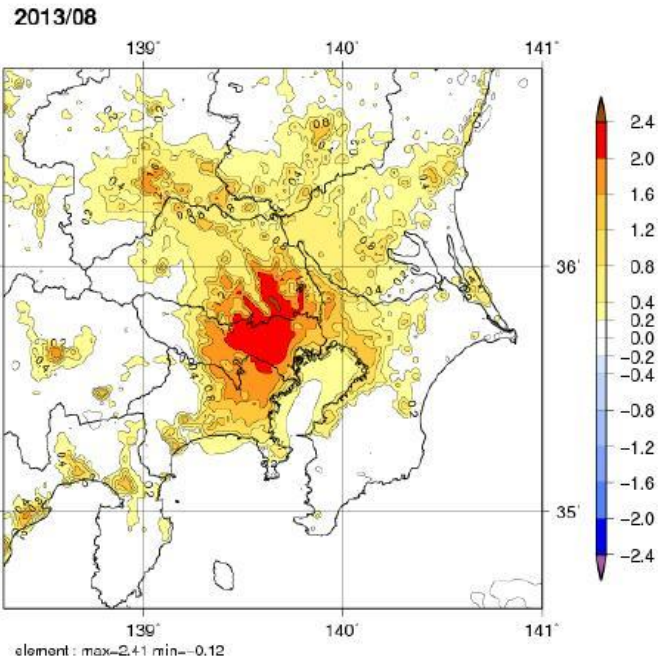
実は、校庭をしばふにする理由の1つに「気温を下げる」ことがあります。東京の都心は、コンクリートやアスファルトでおおわれている場所がほとんどです。コンクリートやアスファルトの上は、土より温度が高くなります。(ということは、すごく熱くなるということです。)その上、都心ではたくさんのエアコン室外機から熱風が出されます。たくさんの車から熱い排気ガスが出されます。反対に、都心では土の地面をほとんど見ることができません。土がなければ植物を植える場所もありません。つまり、都心では多摩市よりも気温が高くなるのです。



右の地図のように、関東地方は、東京の都心に近づくほど色がこくなっていきます。色がこい場所がより暑くなっている場所です。色がこいところが島のようにき上がって見えるので、この現象（げんしょう）を都市のヒートアイランド現象とよんでいます。このヒートアイランド現象は、たくさんの人間が集まって生活しているためにおきる現象です。

そこで、東京都では、建物の屋上に植物を植えたり（屋上緑化）、建物の表面に植物をはわせたり（へき面緑化）、校庭をしばふにしたり（校庭しばふ化）、街路（がいろ）樹を植えたり、水をためることがができる道路にしたりしています。

東京には2100校以上の学校があります。校庭をしばふにしていくことには、できるだけたくさんの学校の校庭をしばふにして、少しでも東京をすずしくしていきたいという考えもあって進められているのです。



けがをしない

なんつる校庭の夏しばふは、ティフトンというきょうぎ場用のしばふです。ティフトンは葉がやわらかいので、体にこすれてもきずになりませんし、いたくありません。しばふの校庭は、土の校庭とくらべると、すりきずをする人がほとんどいません。けがをしにくい体にやさしい校庭なのです。

ほこりが立たない

土の校庭のなやみの一つに、風がふいてほこりがまいて、歩いている人やまわり家へめいわくをかけることがあります。校庭がしばふになると、夏、すずしいだけでなく、ほこりが立たないので、まわりにめいわくをかけません。それに、緑のしばふは、何といたくなく目にやさしいですね。緑の校庭を見ていると、心もなごみます。

いたくない

しばふの校庭は土の上よりもこわがらずに運動することができます。手をついたり、ひざをついたり、ころがったり、たおれたり、すべりこんだり、ねたり起きたり・・・。「ころんでも、いたくない。」という気持ちがあるので、思いっきり体を動かすことができます。みなさんも、休み時間、体育の授業、放課後教室には外に出て、たくさん体を動かしてください。しばふの上でないとできない動きをたくさんしてください。

冬も だいじょうぶ

土の校庭では、ふゆになると霜（しも）がおりて、朝、霜がとけてくると校庭がぐちょぐちょになって使えなくなることがよくあります。でも、なんつるのしばふ校庭では、霜がとければ、すぐに校庭を使うことができます。しばふ校庭の学校は、土の校庭の学校とくらべて、校庭を使うことができる時間をずいぶん得ています。でも、霜などで、しばふがこおっているときは、しばふに入らないでください。こおったしばふをふむと葉がおれてしまいます。葉がおれると葉はもとにもどりません。かれてしまいます。

雨が上がればすぐに使える

しばふは水はけのいい場所がすきです。そこで、校庭をしばふにするときに校庭の土をほり下げ、すなを20cmしきつめました。すなの中には、はい水かんがうめてあり、すなにしみこんだ水が、はい水かんを通って校庭の外に出るようにしました。そのため、少しぐらい雨がふっても、雨がやめば、すぐに校庭が使えます。

気持ちいい!

緑のしばふの上で手足をのぼしてねころんで、青い空や白い雲を見たことがありますか。とてもゆったりとした気分になりますね。しばふの上でねころぶと、とても気持ちがいいです。土の上とちがって、洋服がよごれないし、やわらかいしばふなのでふかふかです。あたたかい季節は、はだしで歩いてください。